

倉敷市の防災教育 全体構想図 (R4. 7)

関係機関

倉敷市防災危機管理室 等

- 協力
- 出前講座

連携

倉敷市教育委員会

- 全市立学校で同様の学習
→ どの学校も同じ意識で市内一丸となった学習へ
- 「わがこと意識」をもたせる学習
→ 「学区の地域性」や「自助」・「共助」の姿勢の育成等、より身近な学習へ
- 家族や地域と共に取り組む学習
→ 児童生徒が率先者となり自主的・主体的に活動し、家庭や地域の力となる学習へ

- ・防災教育カリキュラム
 - ・学習指導案
 - ・教材
- 作成

生涯に渡り防災について考える大人

発信
参画

より広い社会

中学校（自助＋共助）

＜第2学年＞「災害と向き合い、家庭や地域の力となる」

- ・小学校までの学習を振り返り、「自助」について学ぶ。
- ・「自助」だけでなく、「共助」の視点を持ち、家庭や地域のために自分たちができることを考える。
- ・学区の災害リスクや地域の特性を考慮しながら、自分たちができる取組の計画を考え、実践する。
- ・取組に必要な学習や活動について考え、関係機関と連携して体験活動を行ったり、地域でフィールドワークを行ったりする。



発信
参画

自助から共助へ

小学校（主に自助）

＜第3学年＞ 「防災安全マップをつくろう」

- ・通学路における危険を予測し、災害が発生した場合の避難場所や避難行動について考える。
- ・家族と通学路のフィールドワークを行い、危険な場所や避難できそうな場所を点検・確認する。
- ・フィールドワークをもとに「防災安全マップ」を作成し、災害時の避難先について家族と共有する。



＜第5学年＞「災害に備える」

- ・ハザードマップについて知り、水害（土砂災害）から命を守るための方法を考える。
- ・警戒レベルを知り、避難準備行動について考える。
- ・事前の備えや避難のタイミング等を家族で話し合い、それをもとにマイ・タイムラインを作成する。



発信
参画

家庭・地域